

都市再生整備計画 事後評価シート
宇出津地区

平成27年3月

石川県能登町

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	石川県	市町村名	能登町	地区名	宇出津地区			面積	35ha				
交付期間	平成22年度～26年度	事後評価実施時期	平成26年度	交付対象事業費	1,500百万円	国費率	0.4						
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
	基幹事業		道路(地方道新設)、道路(高質舗装)、道路(橋梁架け替え)、道路(消雪装置)、道路(改築)、高次都市施設(観光交流センター)、地域生活基盤施設(緑地・広場、駐車場)、地域生活基盤施設(情報板)										
	提案事業		事業推進計画策定事業、事業効果分析調査(事後評価)										
	当初計画から削除した事業		事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
	新たに追加した事業		基幹事業		道路(橋梁架け替え)		他事業(街路整備事業)とあわせて実施することとしたため		影響なし				
			提案事業										
交付期間の変更	当初	平成22年度～26年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
	変更	なし											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	住民・商店街等の自主イベント開催回数	回/年	18	H21	23	H26	—	25	○	あり	・観光交流センター及び地域交流センターが整備され、地区の新たな拠点が創出されたことに加え、隣接して緑地やイベント広場が整備されるとともに、地域交流センターのスペースも整備され、屋内外に新たなイベント空間が形成された。	
	指標2	地区内ポイントにおける歩行者交通量	人/10hrs	766	H21	800	H26	—	553	×	なし	・道路の高質舗装や道路の分断解消など、回遊性の向上が図られたが、関連事業によって商店街の拡幅工事が進んだことにもない、沿道商店の建て替えとともに駐車スペースが確保され、自動車による来街が増加した。加えて、商店街の購買圏である能登町人口も、事業前と比較して10%減少している。また、調査日の天候が雨だったことも影響したと思われる。	
	指標3	祭りの観光入り込み客数	人/年	45,000	H21	55,000	H26	—	50,000	△	あり	・平成21年度と比較して、目標値には届かなかったが、祭りの観光入り込み客数は増加傾向にある。平成23年東日本大震災などの外部要因によって旅行者は減少し、厳しい状況にある。また、調査年(平成26年)のあば祭りは、開催両日ともに荒天に見舞われたことも影響したと思われる。	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1	能登町立中央図書館利用人数	人/年	6,290	H25			—	18,005		あり	・観光交流センター及び地域交流センターの整備により、老朽化や手狭であったために機能低下がみられた図書館機能が再生され、町民の学習活動が活発化していると思われる。	
	その他の数値指標2	宇出津公民館利用人数	人/年	6,215	H25			—	24,817		あり	・また移設前には少なかった駐車場を確保したことで、来館が容易になったことに加え、バス利用者が待ち時間に利用できるようになり、利用のきっかけとなっている。	
	その他の数値指標3							—			なし	・老朽化や手狭であったために機能低下がみられた公民館機能が再生され、調理室も併設したことにより、町民の住民活動が活発化していると思われる。	
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・観光交流センター・地域交流センターの整備により、老朽化や手狭であるために機能低下がみられた公民館機能や図書館機能が再生され、外出頻度の向上につながっている。 ・観光交流センターの運営組織の活動が活発化し、地域情報の発信や観光客の誘客活動が積極的に行われるようになっている。 												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた				なし					
				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した									
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	住民参加プロセス	<ul style="list-style-type: none"> ・宇出津地区まちづくり交付金事業推進委員会の開催 ・イベント広場プロジェクト会議の設置・開催 		都市再生整備計画に記載し、実施できた				●					
				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した									
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	持続的なまちづくり体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・観光交流センターに「能登観光情報ステーションたびスタ」を設置 		都市再生整備計画に記載し、実施できた				●					
				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した									
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				<ul style="list-style-type: none"> ・観光交流センターを活用し、能登町外からの誘客活動の中心的役割を担う。今後は関係団体との連携により、情報発信や旅行商品の開発、営業活動を積極的に進める予定 					

様式2-2 地区の概要

宇出津地区(石川県能登町) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値			
大目標 祭りのメッカ・奥能登のにぎわい中心地としての宇出津地区の復興	住民・商店街等の自主イベント開催回数 単位: 回/年	18	H21	23	H26	23	H26
目標1 町民の交流の場としてのにぎわい拠点づくり	地区内ポイントにおける歩行者交通量 単位: 人/10hrs	766	H21	800	H26	800	H26
目標2 にぎわい拠点と商店街の回遊性の向上	祭りの観光入り込み客数 単位: 人/年	45,000	H21	55,000	H26	50,000	H26
目標3 祭りのメッカ・舞台としての魅力向上による来街者の増大							



観光交流センター・地域交流センターの整備



観光交流センター・観光ゾーンの展示工事



休憩スポットとなる緑地整備



地区の南北分断を解消する道路の整備



拠点施設の交通円滑化を図る交通広場の整備



祭りの舞台としてのまちを解説する情報板の整備

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 観光交流センター・地域交流センターや隣接する緑地やイベント広場の整備によって、地区内に新たな集客拠点が創出され、イベント開催回数の増加につながっている。また、新たな集客拠点から地区内商店街等への回遊環境も向上している。拠点施設のにぎわい創出を、地区全体に波及させるため、イベント時の連携などが求められる。 地域の魅力情報を発信する環境もととのったことから、今後は地域外からの来街・誘客を促進するための情報発信や、来街者の受け入れ体制の整備などにより、誘客拡大を図ることが求められる。 観光交流センターの持続的な運営に向けて、物産販売部門の強化を図るとともに、集客力向上に向けた施設知名度の向上を図る必要がある。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> インフラ面で集客拠点とまち歩き的环境づくりが整ったことから、それらの施設を活用した取り組み(付加サービスの提供やイベント開催、新たな特産品開発)などにより、さらなる誘客拡大を図る。 商店街との連携強化やまち歩きの仕掛けづくりなどにより、集客効果を地区全体に波及させる取り組みを展開する。 情報発信を効果的に進め、来街者を受け入れるための旅行商品の開発などを行うため、観光交流センターを拠点とした関係者の連携体制をととのえる。とくに、祭りをメインとした情報発信と旅行プランの提案を行う。 住民との協働によるインフラの適切な管理を行う。